

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【公開番号】特開2003-215004(P2003-215004A)

【公開日】平成15年7月30日(2003.7.30)

【出願番号】特願2002-366530(P2002-366530)

【国際特許分類】

G 01 N 1/36 (2006.01)

G 01 N 33/48 (2006.01)

G 01 N 1/28 (2006.01)

【F I】

G 01 N 1/28 R

G 01 N 33/48 R

G 01 N 1/28 J

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月16日(2005.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

有孔底壁を有する頂部と、この頂部にスナップ止めまたは摩擦止めされる底部とから成り、底部は引裂き線に沿って取外し可能な測壁および底部を有することを特徴とする、組織学検査に先立って流体処理する組織標本を収容し、保持する中空部を有するカセット。

【請求項2】

下記(a)~(f)の一つまたは複数を特徴とする請求項1に記載のカセット:

(a) 上記の取外し可能な側壁が頂部と底部とを連結している。

(b) 取外し可能な側壁に一対の引裂き線が付いている。

(c) 取外し可能な側壁に壁の取外しを容易にする突出したタブが付いている。

(d) 頂部および底部が合成プラスチック材料の射出成形品である。

(e) 中空部の内部に予め成形したフォームのプロックおよび/またはアガロースを有する。

(f) 中空部の内部に溶融パラフィンの流出を遅くするための濾紙を配置する。

【請求項3】

下記(a)~(c)の段階からなる組織標本の調整方法:

(a) 請求項1に記載のカセット内部で組織標本の向きを決め、

(b) 向き決めした組織標本を多孔質埋込み媒体中に埋め込み、

(c) 処理後のパラフィン埋込み段階無しに、組織標本の向きを維持した状態で埋込んだ組織標本を組織処理試薬で直接処理する。

【請求項4】

下記(a)~(g)の一つまたは複数を特徴とする請求項1に記載の調整方法:

(a) 多孔質埋込み媒体がアガロースおよび/また多孔質埋込み媒体が予め成形したフォームからなる。

(b) 予め成形したフォームに成形した開口部または凹部内で組織標本の向きを決め、必要な場合には上記の開口部または凹部を切断、ドリル、パンチングまたは成形によって形成する段階を含む。

(c) 組織標本を予め成形したフォームの外側表面と同一平面上またはそれより下側の位置に埋込む。

(d) 予め成形したフォームがフェノール樹脂フォームの予備成形ブロックからなる。

(e) アガロースが約55～65の融点を有する。

(f) 処理後に埋込んだ組織標本をスライスする段階をさらに有する。

(g) 組織処理試薬を水溶性ホルマリン、水、キシレン、アルコールおよびパラフィンから成る群の中から選択する。

【請求項5】

組織学検査に先立って流体処理される組織標本を収容し、保持する中空部を有するカセットにおいて、

有孔底壁を有する頂部と、この頂部にスナップ止めまたは摩擦止めされる底部とから成り、底部は引裂き線に沿って取外し可能な測壁および底部を有し、上記の中空部の少なくとも一部に多孔質な埋込み媒体が詰めされていることを特徴とするカセット。

【請求項6】

下記(a)～(h)の一つまたは複数を特徴とする請求項5に記載のカセット：

(a) 多孔質な埋込み媒体がアガロースおよび/または予め成形されたフォームからなる。

(b) 取外し可能な側壁が頂部と底部とを連結している。

(c) 取外し可能な側壁に一対の引裂き線が付いている。

(d) 取外し可能な側壁に側壁の取外しを容易にする突出タブが付いている。

(e) 頂部および底部が合成プラスチック材の成形品である。

(f) 中空部の内部に溶融パラフィンの流出を遅くする濾紙が配置されている。

(g) アガロースが約55～65の融点を有する。

(h) フォームがフェノール樹脂フォームからなる。

【請求項7】

組織学検査に先立って流体処理される組織標本を収容し、保持する中空部を有するカセットにおいて、

有孔底壁を有する頂部と、この頂部にスナップ止めまたは摩擦止めされる底部とから成り、底部は引裂き線に沿って取外し可能な測壁を有し、上記の中空部中に予め成形されたフォームおよび/またはアガロースを有することを特徴とするカセット。

【請求項8】

下記(a)～(f)の一つまたは複数を特徴とする請求項7に記載のカセット：

(a) 取外し可能な側壁が頂部と底部とを連結している。

(b) 取外し可能な側壁に一対の引裂き線が付いている。

(c) 取外し可能な側壁に側壁の取外しを容易にする突出タブが付いている。

(d) 頂部および底部が合成プラスチック材の成形品である。

(e) 上記の中空部中に予め成形されたフォームおよび/またはアガロースを有する。

(f) 中空部の内部に溶融パラフィンの流出を遅くする濾紙が配置されている。

【請求項9】

下記(a)～(c)の段階からなる組織標本の調整方法：

(a) 請求項7に記載のカセット内部で組織標本の向きを決め、

(b) 向き決めした組織標本を多孔質埋込み媒体中に埋め込み、

(c) 処理後のパラフィン埋込み段階無しに、組織標本の向きを維持した状態で埋込んだ組織標本を組織処理試薬で直接処理する。

【請求項10】

下記(a)～(g)の一つまたは複数を特徴とする請求項9に記載の調整方法：

(a) 予め成形したフォームに成形した開口部または凹部内で組織標本の向きを決める。

(b) 上記の開口部または凹部を切断、ドリル、パンチングまたは成形によって形成する段階を含む。

(c) 組織標本を予め成形したフォームの外側表面と同一平面上またはそれより下側の位

置に埋込む。

- (d) 予め成形したフォームがフェノール樹脂フォームの予備成形ブロックからなる。
- (e) アガロースが約55～65の融点を有する。
- (f) 処理後に埋込んだ組織標本をスライスする段階をさらに有する。
- (g) 組織処理試薬を水溶性ホルマリン、水、キシレン、アルコールおよびパラフィンから成る群の中から選択する。

【請求項11】

組織学検査に先立って流体処理される組織標本を収容し、保持する中空部を有するカセットにおいて、

有孔底壁を有する頂部と、この頂部にスナップ止めまたは摩擦止めされる底部とから成り、底部は引裂き線に沿って取外し可能な測壁を有し、上記の中空部の少なくとも一部に予め成形されたフォームおよび／またはアガロースからなる多孔質な埋込み媒体が詰めされていることを特徴とするカセット。

【請求項12】

下記(a)～(g)の一つまたは複数を特徴とする請求項11に記載のカセット：

- (a) 取外し可能な側壁が頂部と底部とを連結している。
- (b) 取外し可能な側壁に一対の引裂き線が付いている。
- (c) 取外し可能な側壁に側壁の取外しを容易にする突出タブが付いている。
- (d) 頂部および底部が合成プラスチック材の成形品である。
- (e) 中空部の内部に溶融パラフィンの流出を遅くする濾紙が配置されている。
- (f) アガロースが約55～65の融点を有する。
- (g) フォームがフェノール樹脂フォームからなる。